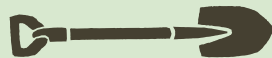


THE COMPOST COLLECTIVE



コンポスト容器

はじめに

コンポスト容器を置く場所は、日当たりの良い場所を選びましょう。土壌生物が進入できるように、地面に直接置きます。空気が中に通りやすいように、根元に小枝を重ねます。

追加するもの

グリーンとは、食品廃棄物やみずみずしい緑の芝生を刈り取ったものなど、柔らかく、新鮮で、湿気があり、窒素が豊富なものです。

ブラウンとは、秋の落ち葉、紙やダンボール、木製の調理器具、串や箸、未処理の削りくず、乾燥した茶色の芝生を刈り取ったものなど、褐色で脆く、炭素が豊富なものです。

追加してはいけないもの

有害な雑草、犬や猫の糞（草を食べる草食動物の糞尿は問題ありません）、油やその他の液体、商業的に堆肥化可能な包装、またはパン、パスタ、肉などの調理済みおよび/または加工食品（ボカシ肥料処理されている場合を除く）。



EcoMatters



Kaipātiki Project
share in nature's revival



コンポスト容器

サンドイッチ方式の堆肥

堆肥を作るには、グリーンとブラウンをサンドイッチのように層状に組み合わせる必要があります。

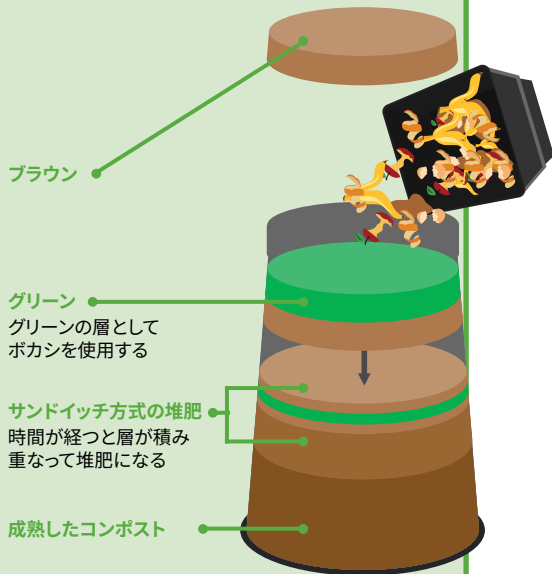
1. 適切なバランスは、グリーン30%とブラウン70%です。
2. ブラウンの層をベースにしてサンドイッチを作ります。
3. 次に、グリーンを層を均等に広げます。これはサンドイッチフィリングと呼ばれます。
4. グリーンの層がブラウンの層と同じ厚さであることを確認してください。
5. 必要に応じて分解を促進するために2つの層を混ぜ合わせます。
6. 同じようにブラウンの層でふたをします。これは堆肥サンドイッチのフタになり、臭いやハエの発生を抑えるのに役立ちます。

問題の対処法

ネズミなどのげっ歯類は、食物源と避難所の両方の目的でコンポストに近づいてくる可能性があります。したがって、コンポスト容器の設置に最適な場所は、害虫駆除用のトラップや餌場から離れたところです。

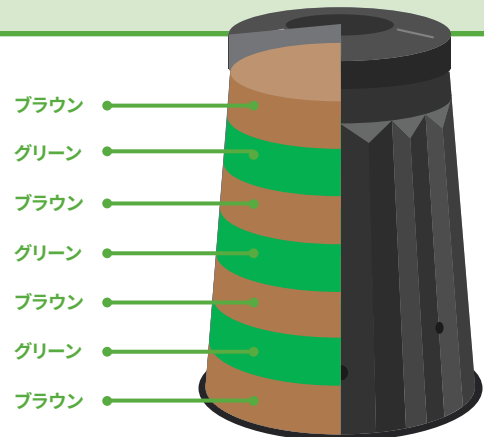
げっ歯類が来る場合、

- ・ ふたが常にしっかりとしまっていることを確認してください。
- ・ グリーンから10cm伸びた金網の土台の上にコンポスト容器を置き、ピンで留めます。
- ・ 金網をバリアとして空気穴に押し込み、空気の循環を可能にします。



コンポストの手入れ

図が示すように、コンポストを層状に重ね続けますが、コンポストはスポンジのように湿っている必要があることを覚えておいてください。したがって、乾燥した材料に水を加え、湿気を閉じ込めるためにカバーをして、容器の周りと内部に十分な空気の流れがあることを確認してください。



収穫期

コンポストは、甘く、黒く、もろくなり、元の材料が分からないようになったときが収穫の準備期です。これには通常6〜8か月かかります。

容器から取り出し、堆肥化された材料の底から3分の1を収穫します。シャベルで、半堆肥化された材料の上部3分の2を取り、容器に戻します。これにより、庭にまくための良質の堆肥が得られます。

ヒント

- ・ コンポストは常にスポンジのように湿っている必要があり、湿っていないと空気の循環が妨げられます。
- ・ コンポストの上部の層をシャベルで定期的にかき混ぜます。このときに堆肥化済みの材料の下層と混ざらないように注意してください。これは堆肥化がまだ完了していない材料に空気を通すのに役立ち、堆肥化材料と混ぜないことで害虫害獣を防ぐのに役立ちます。
- ・ 堆肥は6〜8か月後に積み重なった層の底の部分にできあがります。

健康と安全のために

コンポストには、レジオネラ菌などの微生物が含まれている可能性があり、まれに深刻な病気を引き起こすこともあります。コンポストが蒸気を発している場合は、フェイスマスクを着用するか、蒸気を吸い込まないようにしてください。

コンポストを扱うときは必ず手袋を着用し、その後は必ず手を洗ってください。

